



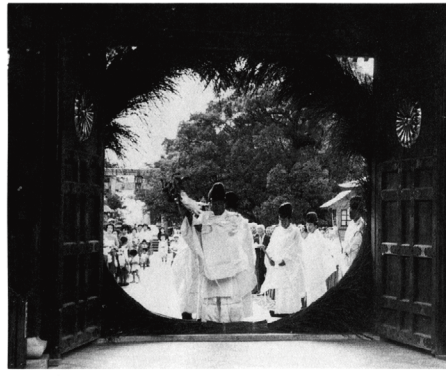
毎月十五日発行 社会 宗像 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社 井筒 福岡店 電話 0940-62-1311

大祓式・夏越祭齋行

緑鮮やかな茅輪を潜り

災難消除・無病息災を祈念



七月三十一日、午後五時より、恒例の夏越の大祓式が、多数の参列者のもと厳肅に斎行された。

先ず太田権司が大祓詞奏上、次に各人配られた切麻にて祓い、次に祓物を切り裂き、また郡内氏の方々を始め全国各地の崇敬者より送附された人形も厳肅なお祓いごなされた。次いで宮司以下神職、参列者はみなつき夏越の祓ひする人は千歳の命のぶといふなり

「御札」 当大社恒例の夏越祭神事齋行に当たりましては、宗像市・郡内氏子各位並びに全国崇敬者の皆様より、多数の人形をお寄せ戴き、お蔭を持ちまして、祭典も盛大に斎行致すことが出来ました。

奉納袋配布並に取纏め御札 平成三年度、宗像大社夏越大祓式齋行にあたり、市・郡氏子各位への奉納袋配布並に取纏めにつきましては、御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

太平洋戦争がアメリカの唱えた額面通り、クウェートからのイラク軍追い出しをもつて予想外の早さで終結し、興奮から醒めた状態で、我が国の国際貢献への在り方が各方面から問われ続けているのは、いわゆる戦後法制に対する根本的な反省を促すものとして、歓迎されるべき状況だと思われる。これには、統一地方選挙における社会党の敗北が大きな一つの動力になっていることも疑えない。それによって、憲法議論も従前とは異なった雰囲気の中で、一般ジャーナリズムが取り上げるようになったと思われるからである。

抱え込んでいたのである。その証しは、憲法前文と第九条との関係において示されている。即ち前文第二項で、「日本国民は(中略)平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼し、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と述べ、その意志の具体的表示として、第二章第九条が戦争の放棄を規定し、その第二項で「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と断じていながら、先

の前文では、引用部分に引き続いて「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しよう」と努めている国際法において、名譽ある地位を占めたいと思つ」と述べているからである。

独立国家と憲法と 前文では、引用部分に引き続いて「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しよう」と努めている国際法において、名譽ある地位を占めたいと思つ」と述べているからである。

に違いないのである。 独立回復後早期に、我われはこの矛盾解消に手を染めるべきであった。しかし国民の多くは、平和憲法の幻想に溺れて自律自立の途を自ら放棄して来たのである。その陶酔状態は今日もまだ持続しており、某テレビ局の終夜討論番組で、某映画監督が胸をなやませて、

抱え込んでいたのである。その証しは、憲法前文と第九条との関係において示されている。即ち前文第二項で、「日本国民は(中略)平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼し、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と述べ、その意志の具体的表示として、第二章第九条が戦争の放棄を規定し、その第二項で「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と断じていながら、先

に違いないのである。 独立回復後早期に、我われはこの矛盾解消に手を染めるべきであった。しかし国民の多くは、平和憲法の幻想に溺れて自律自立の途を自ら放棄して来たのである。その陶酔状態は今日もまだ持続しており、某テレビ局の終夜討論番組で、某映画監督が胸をなやませて、

に違いないのである。 独立回復後早期に、我われはこの矛盾解消に手を染めるべきであった。しかし国民の多くは、平和憲法の幻想に溺れて自律自立の途を自ら放棄して来たのである。その陶酔状態は今日もまだ持続しており、某テレビ局の終夜討論番組で、某映画監督が胸をなやませて、

に違いないのである。 独立回復後早期に、我われはこの矛盾解消に手を染めるべきであった。しかし国民の多くは、平和憲法の幻想に溺れて自律自立の途を自ら放棄して来たのである。その陶酔状態は今日もまだ持続しており、某テレビ局の終夜討論番組で、某映画監督が胸をなやませて、

に違いないのである。 独立回復後早期に、我われはこの矛盾解消に手を染めるべきであった。しかし国民の多くは、平和憲法の幻想に溺れて自律自立の途を自ら放棄して来たのである。その陶酔状態は今日もまだ持続しており、某テレビ局の終夜討論番組で、某映画監督が胸をなやませて、

残暑御見舞申し上げます 博多の味 味噌せんべい 博多の四季 株式会社 梅月堂 812 福岡市博多区吉門戸町1-11 TEL 092-291-2966

筑前大島の夏 第三十六回 中津宮七夕揮毫会



中津宮夏の恒例行事、宗像大社中津宮七夕揮毫会が、酷暑の七月二十四日(水)、大島小・中学校を揮毫会場に開催された。

中津宮夏の恒例行事、宗像大社中津宮七夕揮毫会が、酷暑の七月二十四日(水)、大島小・中学校を揮毫会場に開催された。

この揮毫会は神湊より船で二十分、福岡県最大の島筑前大島で毎年開催されているもので、今回で三十六回目を迎える。毎年県内各地からの参加を得、盛大に開催されているが、今年も宗像地区を中心にその近郊福岡市、八女地区等より幼稚園児、小学生約二百五十名が参加した。

参加者は、日頃の書道の練習の成果を發揮するだけでなく、家族で豊かな自然に恵まれた大島での、楽しい一日を満喫している姿が目立った。

小中学校の先生方の協力により審査が行われたが、何れも力作が並び、先生方も優秀な作品が並び、先子であった。

午後一時より照海殿前まで、「ささぎ」が行われ、参加者は早朝の揮毫の緊張とは打って変わり、海水着に着替えて我先に海へ飛び込み、楽しい一刻を過ごした。

午後三時より表形式で中津宮拝殿前で行い、賞状、賞品が入賞者に手渡され、午後四時には今年の揮毫会も無事終了した。

尚、金賞以上の入賞作品は八月三十一日迄中津宮回廊に展示される。受賞者は次の通り。(金賞以下省略)

- (福岡県知事賞) 牛島由美 (八女上妻小6)
- 花田英司郎 (津屋崎中3)
- (福岡県議会議員賞) 牛島由美 (八女上妻小6)
- 岩田明子 (福岡小)
- (福岡県教育委員会賞) 力丸純子 (安海東小3)
- 川口敬子 (八女南中1)
- (宗像大社宮司賞) 石津美和 (津屋崎小4)
- 田中弘美 (八女南中3)
- (宗像市長賞) 井上大輔 (八女上妻小2)
- 永島理恵 (津屋崎中1)
- (宗像郡町長会長賞) 鍋山美紀 (くろのみ幼稚園)
- 黒島恵美 (八女南中2)
- (宗像郡議会議員会長賞) ふなつふみよ (吉武小1)
- 田中寛子 (八女南中1)
- (大島市長賞) 牛島暢子 (八女上妻小6)
- 松野優子 (八女南中3)
- (大島町教育委員会賞) 中山山美穂 (八女上妻小4)
- 大和安美 (中央中2)
- (フクニ子新聞社賞) 村上修一 (大島幼稚園)
- 和田修一 (赤間小1)
- 力丸弘一 (安海東小2)
- 中山りさ (安海小3)
- 乙藤修 (福岡南小4)

平成三年度 主基地方風俗舞保存会総会

昭和天皇御即位の御の主基地方風俗舞を伝承する、主基地方風俗舞保存会(会長佐野昭正・会員八十名)の平成三年度総会が、七月十三日午後六時より当大社斎館に於て行われた。

主基地方風俗舞は、昭和三年の御大典主基斎田に選定された福岡県の風俗歌に舞を振付けたもので、昭和四年宮内省より、当大社に永久保存するよう、特別の思召しを以て御下賜いたされ、以来当大社で伝承、地の元氏子青年達が受継いでいる。保存会は昭和五十三年歴代風俗舞部員を主会員に結成され、「宗像大社春秋の大祭に風俗舞を奉納する」を主目的に活動が続いている。

当日午後五時より総会に先立ち平成二年度の会計監査があり、定期総会を開始。当大社養父宮司、和田玄海町長外来賓挨拶の後議事に入った。

第三二回 宗像大社歌会詠草

赤間ヶ丘 松本 澄子
山峡をぬけて展げし砂浜に朽ちたる廃船散置れある
(詠) 情景が明らか故にその廃船の向う海の色まで見えて来る。高度な写実は抽象・概念を統へる。
(七口カガク)

香雅 桜井 ツ子
国会図書館の地下ふかき書庫に眠るむ八十歳われの拙き歌集
(詠) 一首の底に影んでいる謙遜な心が美しい。自分の歌集に寄する思いは測りれないものがある。

田熊 驚頭かつ代
陽をよけて佇つわが傘に百斤の花穂の触るる音のかそけ

田久 立花 勇雄
梅雨ふりて湿りがちな笹藪にどくだみの花白く群れさく

小倉北 松本 政子
水河湖の青の水面を流れ浮く水塊も夏空の輝きを浴む

池田 小田 イセ
餌を銜へ帰る来し燕に子燕は顔より大口あけて啼く

鐘崎 安水 久子
古墳過ぎし兄が古里の追想記の知らざる父母書かれをり

八幡東 江口 妙子
雨まじり朝日さし入る裏庭に今年も早くアイリス芽ぶく

自由ヶ丘 細川 絹子
あじさいは雨は激しく降り注ぐ年若く子の逝きし七月

八幡西 川崎 ウラ
窓辺迄伸びし蜜柑の花咲きてしるき香のする野に立てば

原町 八波 五月
一直線に飛びつ、パイと身を交しつばめは車庫の葉に餌を運ぶ

八幡東 大塚まき子
新婚の日も浅き頃夫行きぬ今も眼裏にその姿あり

須恵 馬場 ヤラ
連呼して竿充りの声と焼芋屋高らかに通りゆきたり

名古屋 小田 留子
バスを待つ乙女の長き黒髪は風に遊べり白きうなじに

吉留 白木 うめの
沈む日の一とき窓に燃え立ちて校舎の外も中も人もなし

大島 目原 節子
培ひし爺居ますす梢高く凌雲花の庭に輝く

三苦 清原 絹代
泥水の川沿いの木に白鷺の止まりていたり花咲く如し

八幡西 山田 耕夕
いくさなき国のしあはせ中東の戦橋にあへぐひとと思ひぬ

徳重 石松や寿子
長雨にふさふさ勝ちな此の夕べ月下美人の花つ咲く

池田 小田 しめの
きすいもより先に食ぶるを慣し決めて過ぎ来し七十餘年

朝町 古田 千代子
クラス会に欠席の我に想い出せと写真を送り友等の顔を

光岡 竹浦 葛明
時折の風鈴の音聞きいつつ初夏の昼間の微睡みに入る

大島 河野 英子
小雨降るぐれの空五位鷲の群低くとぶ列乱しつ

八幡西 川崎 ウラ
窓辺迄伸びし蜜柑の花咲きてしるき香のする野に立てば

原町 八波 五月
一直線に飛びつ、パイと身を交しつばめは車庫の葉に餌を運ぶ

八幡東 大塚まき子
新婚の日も浅き頃夫行きぬ今も眼裏にその姿あり

須恵 馬場 ヤラ
連呼して竿充りの声と焼芋屋高らかに通りゆきたり

名古屋 小田 留子
バスを待つ乙女の長き黒髪は風に遊べり白きうなじに

吉留 白木 うめの
沈む日の一とき窓に燃え立ちて校舎の外も中も人もなし

大島 目原 節子
培ひし爺居ますす梢高く凌雲花の庭に輝く

三苦 清原 絹代
泥水の川沿いの木に白鷺の止まりていたり花咲く如し

八幡西 山田 耕夕
いくさなき国のしあはせ中東の戦橋にあへぐひとと思ひぬ

徳重 石松や寿子
長雨にふさふさ勝ちな此の夕べ月下美人の花つ咲く

池田 小田 しめの
きすいもより先に食ぶるを慣し決めて過ぎ来し七十餘年

朝町 古田 千代子
クラス会に欠席の我に想い出せと写真を送り友等の顔を

光岡 竹浦 葛明
時折の風鈴の音聞きいつつ初夏の昼間の微睡みに入る

大島 河野 英子
小雨降るぐれの空五位鷲の群低くとぶ列乱しつ

八幡東 大塚まき子
新婚の日も浅き頃夫行きぬ今も眼裏にその姿あり

須恵 馬場 ヤラ
連呼して竿充りの声と焼芋屋高らかに通りゆきたり

残暑御見舞申し上げます

宗像グリーンタクシー 株式会社

代表取締役 藤瀬 允智

宗像市大字河東一三三三
TEL 0940-333-3333

宗像西鉄タクシー 株式会社

代表取締役 大里 輝親

支配人 花田 好幸

宗像市自由ヶ丘二七三三
TEL 0940-333-3333

新星交通 株式会社

代表取締役 古野 浩

宗像市大字東郷
東郷営業所 0940-361-1138
赤間営業所 0940-333-3338
神湊営業所 0940-621-0101

まごころで24時間
マリンプルーの

みなとタクシー 株式会社

代表取締役 古野 浩

0940(333)13331

サンサンイチのサンサンイチ

宗像大社歌会 俳句作品集 三〇二

藤沢 井上 玄洋
若松 井手 清隆
物言へば月下美人の笑む如し

津屋崎 西住喜三郎
滴りの石仏濡らす崖の音

福岡 森 清
風吹けば葉づれ音ある青田かな

福岡中央 力丸 玄風
入道雲は小さく病んでをり

福岡 広渡一寿軒
駅弁の蓋から喰べるフルムーン

名古屋 小田 喜一
南風の連隊跡に碑がひとつ

名古屋 小田 留子
火の山の噴煙とぞす梅雨の雲

田熊 安部 ゆき
緋を燃やし野性カンナの咲きほこり

田熊 力丸 一郎
夏に入る卒寿を越える登り坂

日の里 花田いつ枝
目に見えぬ程を動かしてへら釣船

滋賀 岩瀬 辰夫
健やかな身骨格と楽しく西瓜食む

津屋崎 井浦 良介
夏通くにも心豊かな鳥の民宿



(続)

浜の寄物

59

三河・棉祖天竹神社 (一)

いしいただし

八月九日から一四日までの六日間、名古屋の名鉄デパートで、「海の漂着物」展が開催された。その間、いくつかの催しもあつた。しかも盆の帰省ラッシュにかり、名古屋に滞在するはめとなつた。折角、名古屋に来たのであるが、隅々を歩く計画であつたが、結局は夏休みの宿題もいっぱい抱え込んでいたので、計画通りにはいかなかった。しかし西尾市天竹町にある棉祖天竹神社、かねがね行つてみたいと思つていたところであつた。幸い矢作川の漂着物を研究されている岡崎市の嶋村博先生が案内して下さつたので、この神社への参拝について記しておきたい。

名古屋から名鉄で豊橋行き急行にのり三〇分。徳川家康生誕地岡崎駅に着くと、既に嶋村先生が車で迎えに来てくれた。車で西尾市を目指す。

矢作古川の橋を渡ると西尾市天竹町であつた。そこから約二〇メートルほど西の西尾市街地にむかつて右手に、天竹神社の案内板が立っている。棉祖天竹神社とある。天竹は天然と書いた方が分かりやすい。唐、天然の「てんじく」である。日本後紀や類聚国史等に

まつりと生活 (四十)

氏神さま

日本全国には現在約八万の神社があるといわれています。そしてそれぞれ神社にはさまざまな神さまが祀られています。一つの神社でも神さまが一柱の場合もあれば、二柱、三柱と数多くの神さまがいっしょに祀られている所もあります。神社に祀られている神さまのことを御祭神といい、二柱、三柱と多くの神さまが祀られているうち、中心に祀られている神さまのことを主祭神といえます。また稲荷神社や八幡神社のように、同じ神さまが全国各地の神社に分かれて祀られている神さまのことを

勧請神と呼んでいます。その他、神社の境内に別の社を建てたり、神社の敷地の外に建てられている神社がありますが、前者を境内社、後者を境外社と呼んでいます。

一方、神社の管理を受けず、路傍や街角に祠を立ててお祀りされている神さまや、石や木などに祀りされている神さまもいます。また家の守り神として屋敷の中に祠を立てて祀られた神さまや、座敷の中で神棚に祀られた神さまもいます。このように神さまをお祀りする形は千差万別ですが神社であれ、祠であれ、そ

こには必ず神と人との交流があり、その神さまを信仰する人がいることに何も変わりません。

このようにたくさんおられる神さまの中で、とりわけ私たちの日常生活に深い神さまがいます。それが氏神さまと呼ばれる神さまです。今回はこの氏神さまについて述べたいと思います。

氏神とはもともと、古代社会で血縁的な関係にあった一族がお祀りした共通の神さまのことで、その一族の祖先神だったり、その一族に由緒深い神さまだったりすることが多かったよう

た。其の男は後に中国語をよく習つて、自分からは「天竺人」と言っていた。男はいつも一統装を身につけたものであつた。また棉の種子を入れた壺を持つていた。この種子がやがて紀伊、淡路、阿波、讃岐、伊予、土佐等の国及び太宰府に植えられた。棉祖と言われる由縁である。

神社は正面少し引つこんで戦後に建てられたコンクリート製の鳥居が中央に、神社を囲むように寄進された石柱。右手に大きな石に棉祖天竹神社と彫られた碑。左手に黒御陰石に彫られた神社の縁起が建っている。

正面に拝殿、後方に本殿。左手に社務所、右手にはガラス張り、綿関係の資料類が展示してある資料館(表からガラス越しにのぞく)と倉庫、手洗い鉢もある。先述したコンクリートの鳥居の寄進者名には、わが福岡市の「オタクワタ」の名もあつた。道路をはさ

んで空地となりその隅に御神料所の小さな碑がたつ。約一坪ほどに綿が植えられ、十月第四週の綿打ちの神事は、ここでとれた綿を使つて催される。

今年の村の当番にあたられているのが鈴木登氏(六七歳)と聞き、早速氏を訪ねた。



延命長寿

棉祖天竺國東人御祭神御影

天竹はす
うしろは
うしろは
うしろは

わくわく
うしろは
うしろは

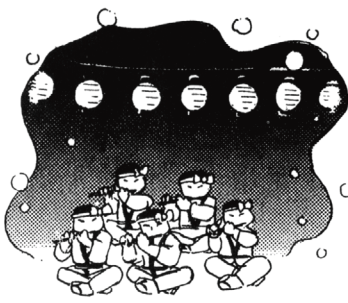
安知西尾市天竹町
棉祖天竹神社

また氏神とは別に産土神と呼ばれる神さまもいます。産土とは生まれた土地という意味で、その土地を守護してくれる神さまが産土神でした。古来稲作を中心にしてきた日本では、一ヶ所に定住して集落を営み、共同作業によって稲作に励み、祭祀に参加したり、さまざまな人生儀礼の際に参りたりする人々のことをいい、氏神とは、氏子が常に信仰の対象としている神のことです。

氏神さまは、昔から地域の人々にとって村や郷の共同体の生産と生活に密着したたいせつな守り神でした。

有名神社も、その多くはもともとこうした共同体が祀つていた神の社だったので、現在一般に氏神は、氏子と対の言葉として使われています。氏子はその神社の祭祀圏内に住み、祭祀に参加したり、さまざまな人生儀礼の際に参りたりする人々のことをいい、氏神とは、氏子が常に信仰の対象としている神のことです。

Y・S 記



残暑御見舞申し上げます



総合建設業
株式会社 弘江組

代表取締役 中野弘愛

事務所 福岡県宗像市大字福元二〇五
電話 〇九四 三二二五六七
三二二五九一八

総合結婚式場
のがみ会館

取締役社長 野上藤三郎

飯塚 飯塚市新立岩二一三三七
宗像 〇九四八 二二二三八四〇
宗像市大字土六四六六一
筑紫 〇九四〇 三二二一三五五
筑紫野市大字塔の原九六九
〇九二一九二二一

宗像グリーン
株式会社

代表取締役 瀧口潤一郎

福岡県宗像市大字福元九〇五
TEL 〇九四 三三二二七

ハナダ写真館

代表者 山下孝男

福岡県宗像市大字東郷一〇三
TEL 〇九四 三六二〇〇九代